

2022年10月4日 第434号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動臨時国会開会日行動に 250 人

統一協会問題徹底追及！改憲反対！いのちと暮らしをまもれ！

岸田政権を打倒しよう！

総がかり行動実行委員会は10月3日昼、「統一協会と自民党の癒着徹底追及！改憲反対！軍拡反対！いのちと暮らしをまもれ！10・3臨時国会開会日行動」を開催し、250人が参加しました。統一協会と自民党の癒着の徹底究明、物価高騰対策やコロナ対策を強化させることが重要になっています。国民の暮らしより経済優先、国民の声を聞かない岸田首相



を打倒するため奮闘する決意を固めあう行動となりました。日本共産党の小池晃参議院議員、沖縄の風の伊波洋一参議院議員、社民党の福島瑞穂参議院議員、立憲民主党の石垣のりこ参議院議員があいさつしました。

総がかり行動実行委員会共同代表の藤本泰成さんが主催者あいさつ。3人の市民が発言しました。

チェンジ国政！板橋の会の荒川孝治さんは、「国葬に反対し9月26日までに地域の24駅頭すべてで宣伝を実施。大山地域では94歳の女性が3駅頭の宣伝に参加し、みんなの励みになった。板橋本町の宣伝では、タクシーを降りて待たせたままで、宣伝に参加しスピーチした方も。下村博文の選挙区であり、総選挙では市民と野党共闘の力で落とすためにがんばりたい」と話しました。

共謀罪NO！実行委員会の角田富夫さんは、「自民党と統一協会の問題は徹底追及が必要だ。秘密保護法成立も共謀罪法も運動があったから適用を許していない。改憲・軍拡反対、いのち・暮らしを守るため岸田政権をつぶすことに全力をあげる」と強調しました。

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会の毛利孝雄さんは、「沖縄県知事選では、辺野古新基地建設反対の民意が示された。基地建設を撤回し、ただちに普天間基地を返還すべきだ。遺骨が入った土砂の辺野古への埋め立てを政府は撤回していない。220の自治体が撤回を求めている。10月23日に辺野古問題でのオンライン講演会があるのでご参加を」と呼びかけました。

憲法9条を壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんが行動提起を行いました。